

学校名	吉野ヶ里町立東脊振中学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上について、全職員が基礎的基本的な知識・技能の習得ができる授業展開を行い、生徒が自分の言葉でまとめや振り返りをする場面を設定する授業の充実を図る。 ・心の教育では、すべての教科や学校行事において夢や目標について考える場面や振り返る場面を計画的に設定する。 ・業務改善・教職員の働き方改革の推進については、<u>教育課程の業務の見直し</u>によって一層の在校等時間の削減を図る。 ・不登校対策については、毎週の教育相談部会や月1回の「不登校生徒支援ネットワーク連絡会」において、情報交換を行い対応を協議する。次年度もSCやSSW等と連携を取りながら支援を継続する。
------------------	---

2 学校教育目標	<p>人を大切にできる</p> <p>～「やさしさ」と「たくましさ」をそなえた生徒の育成～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力を身に付けさせる 2 道徳教育を中核に豊かな心を育てる 3 キャリア教育を通して自律を促す
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	○基礎基本の定着に向けた分かる授業の実践	○「各教科の授業が分かる」と回答した生徒80%以上【11月末調査】	・授業の中に自分の言葉で「振り返る」場面を設定する。	学力向上コーディネーター: 永田
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて「自分の道徳性が高まっている」と回答した生徒80%以上【11月末調査】	・道徳科ではこれまで蓄積した資料を利用してチーム・ティーチング、ローテーションによる授業を行う。	道徳教育推進教師: 峯
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校がいじめ防止に取り組んでいると回答する生徒80%以上。【1. 2学期に調査】	・隔週週末に生活アンケートを行い毎週の職員連絡会での情報交換及びいじめ防止対策委員会を随時行う。	生徒指導: 安武
	●◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上【11月末調査】	・キャリア教育「夢をかなえる地図」等への計画的な記入を指導するとともに行事の生徒司会化等で「唯一無二の東脊振中づくり」を行う。	進路指導・キャリア教育: 城島
●健康・体づくり	○生徒行動目標「東中生みんなで頑張るHGS」挨拶、時間の管理、自問清掃の実践	○気持ちよい挨拶ができる生徒80%以上(時間を守り行動できる生徒、自分で考えて掃除ができる生徒も同様)【11月末調査】	・生徒会によるあいさつ運動指導・ノーチャイム。教員は授業2分前に教室臨場で余裕ある挨拶。	生徒会担当: 吉田一
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○朝食を摂る生徒と健康に食事は大切であると考える生徒90%以上。【全国学調結果・11月末調査】	・給食週間等に「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発を行う。家庭科や保健体育など食事の大切さを取り上げた授業を行う。	給食指導・食育指導: 原、山口
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○健康や体づくりについて意識づくりの促進	○部活動、社会体育及び文化活動に取り組む生徒80%以上【4月加入調査】	・PTA運営委員会や部活動保護者会で課外活動の意義と生徒加入状況を知らせ啓発する。	体育主任・部活動担当: 城島、松尾
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則時間外在校等時間の上限に達する職員0(ゼロ)。【11月末で確認】	・保護者宛て教職員勤務時間文書配布と長期休業中の終礼実施。 ・年間授業時数1085時間以内とし、真に必要な授業実施。	衛生推進者(教頭): 笠
●特別支援教育の充実	○部活動の適正化と健康管理体制の充実	○部活動休養日(水、第3日曜)の100%実施。本校部活動運営方針に基づき、スポーツ科学等の裏付けのある適切な運営を行う。【12月末で確認】	・毎月の在校等時間結果から産業医(学校医)による面接奨励を行う。 ・県教委健康情報誌Smileの配布を行い啓発する。	部活動担当、衛生推進者: 城島、松尾、笠
	○生徒に対する個に応じた支援。	○特支学級在籍生徒へのアンケートで学校が楽しいと回答する生徒80%以上。【11月末調査】	・特別支援教育推進委員会、職員連絡会で気になる生徒の情報交換と支援策の協議を行う。	特別支援教育コーディネーター: 古舘
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
○長期欠席・不登校対応	○長期欠席、不登校及び不登校傾向の生徒(以下「不登校等生徒」)に対する組織的対応	○不登校等生徒対応に関する理解が向上したと回答する教員90%以上。【11月末に職員対象調査実施】	・「長期欠席・不登校対応スタンダード」をテキストに教育相談部会、ネットワーク連絡会で情報共有と支援策を協議する。	教育相談担当: 岡山

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育